

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	神学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教育目標に基づいたディプロマ・ポリシーを策定(設定)する。	→ディプロマ・ポリシーの明示・公開(2011年度までにWEB等の広報媒体、履修指導への反映[心得に掲載])。	C	B	A	A	/
2. 学位授与基準、修了認定基準を明示する。	→学位授与基準、修了認定基準の明示・公開(2012年度までにWEB等の広報媒体、履修指導への反映[心得に掲載])。	C	C	B	B	/
3. ディプロマ・ポリシーに基づいたカリキュラム・ポリシーを(設定)する。	→カリキュラム・ポリシーの明示・公開(2013年度までにWEB等の広報媒体、履修指導への反映[心得に掲載])。	C	C	B	A	/
4. 前期課程を修了し、伝道者(牧師、聖書科教師など)として働いている者が入学できるリカレント・プログラムを、博士課程後期課程において、ないし、外国の大学との協力により、設ける。	→学位の新設(規程改正)。	D	D	D	C	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	ディプロマ・ポリシーは2010年度に策定し、2011年度以降、研究科生全員の履修指導に活用している。また、2011年度のカリキュラム・ポリシー策定を受けて、アドミッション・ポリシーと併せた3つのポリシーを併記し、WEBにて公開している。2012年度からは、学生に配付する『履修の手引』にも掲載し、十分に周知している。今後は、より周知しやすい明示方法を念頭に2コースの特徴をさらに具体的に反映した表現を検討する。
目標2	ディプロマ・ポリシーにて学位授与の方針の基本的資質を明確化し(2010年度)、WEBおよび『履修の手引』にて公開している(2011年度)。併せて課程修了及び学位授与に係る「学位(修士・博士)論文」審査基準の公開に向けた明確化の作業を開始、研究科委員会の承認を経て(2012年11月)、2013年度から部内公開の上、試行している。今後もカリキュラム委員会(研究科)やFD委員会(研究科)にて検証の仕組みを整えつつ、2014年度へ向けて公開の予定である。
目標3	上記目標1に記載のようにカリキュラム・ポリシーを策定し(2011年度)、ディプロマ・ポリシーおよびアドミッション・ポリシーと併せ、3つのポリシーをWEBで公開したほか、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを、学生へ配付する『履修の手引』にも掲載し、履修指導(ガイダンス等)をとおして周知している(2012年度)。今後は、カリキュラム・ポリシーの継続的な検証の仕組みを、カリキュラム委員会(研究科)を中心に検討・整備していく。
目標4	新設学位として専門職学位(Doctor of Ministry)を念頭に置き、その指導に関わることが想定される教員1名が、同学位を2013年度中に取得すべく準備している。また、実際に伝道者としての働きをしている者の研究科への受け入れ(社会人正規学生)、キリスト教界の課題を現場の立場から協議する「神学セミナー」、医療・福祉の現場における人材育成をめざしたプログラムに関する共同研究(神学部教員を中心に、人間福祉学部3名を含む計6名による)など、社会人学生のニーズを探る取り組みを行っている。
備考	